

研究課題番号	2-1803
研究課題名	ブラックカーボンおよびメタンの人為起源排出量推計の精緻化と削減感度に関する研究
研究実施期間	平成30年度～令和2年度
研究機関名	(国研) 国立環境研究所
研究代表者名	谷本 浩志

1. 委員の指摘及び提言概要

二酸化炭素削減に加えての短寿命気候強制因子の重要性が認識される中、ブラックカーボン（及びメタン）のアジアにおける排出量推定の精緻化目標を期待通りに達成し、従来の推定値を修正した。その成果の IPCC 第6次報告書への反映の貢献が大きい。特に、中国の BC 排出量の下方修正を確認した点、また北極圏での BC 濃度の要因を確認した点は評価できる。一方で、アジアにおける BC やメタン排出削減の経済的費用便益分析を試みた点は評価するものの、その研究の成果が全体目標や、サブ1、2課題の成果との総合化までには至らなかったのは残念である。研究成果発表に関して、査読付き論文、国際学会発表、市民等との対話・発信、研究に関連する受賞など、広く学術分野や社会への広報などに行われており、評価できる。日本国内の BC 及びメタンの対策提言に向けた道筋に貢献できることを期待している。

2. 採点結果

評価ランク：A